

タクマ健康保険組合



健保組合は、2月21日開催の組合会で、令和7年度予算案等を審議し決定しました。

令和7年度予算

保険料率据え置き 1億8,366万円の経常赤字予算

令和7年度はIHI汎用ボイラ編入の影響もあり基礎人員2,046人で前年度予算より177人増加しています。平均標準報酬月額が473,649円とし、賞与額は45億1,860万円を見込んでいます。

令和7年度の納付金は引き続き高止まりした状態であり7億6,643万円となります。そのため、不足分2億3,430万円を積立金から繰入を行い対処し、保険料率は据え置きます。

令和7年度以降も納付金が高額となること、また医療費も高水準で推移することが予想されますが、しばらくは積立金を取り崩すことで対処が可能と思われます。しかしながら、数年後には料率変更を検討せざるを得ない可能性があります。

収入については、保険料収入が13億8,944万円、前年度繰越金は0円、繰入金は2億3,430万円となります。

支出については、保険給付費は医療費が引き続き高水準で推移すること、IHI汎用ボイラ編入の影響を見込み7億3,157万円、前期高齢者納付金等の納付金合計額は前年度より若干、減少し7億6,643万円、保健事業費は5,910万円を計上しています。

以上により総収入および総支出額は16億7,992万円となり、経常ベースでは、経常収入14億215万円に対し、経常支出15億8,582万円で、経常収支は1億8,366万円の赤字を見込む予算となります。

介護保険

保険料率据え置き

介護保険は、第2号被保険者(本人+家族)をIHI汎用ボイラ編入の影響もあり1,625人とし、うち本人は1,125人と見ており、前年度予算より第2号被保険者、本人とも増加としています。平均標準報酬月額が544,326円を見込んでいます。

介護納付金が1億7,751万円と令和6年度に比べ1,100万円

ほど増加しますが、令和6年度から1,100万円を繰越すことで保険料率が現状のままで対処可能となるため17/1000に据え置きとなります。しかしながら、令和8年度は納付金の増加状況により保険料率を上げざるを得ないことも予想されます。

令和7年度収入支出予算概要表(単位:千円)

(一般保険)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
健康保険収入	1,389,444	事務費	26,520
調整保険収入	20,930	法定給付費	711,831
繰越金		付加給付費	19,740
繰入金	234,300	保険給付計	731,571
国庫補助金	20,005	前期高齢者納付金	387,492
出産育児交付金	486	後期高齢者支援金	378,939
財調交付金	2,500	病床転換支援金	1
雑収入	12,260	流行初期医療確保拠出金	1
		納付金計	766,433
		保健事業費	59,101
		財調拠出金	20,930
		その他	2,212
		予備費	73,158
計	1,679,925	計	1,679,925
経常収入	1,402,159	経常支出	1,585,826
		経常収支	-183,667

(介護保険)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
介護保険収入	178,909	介護納付金	177,513
繰越金	11,000	介護保険料還付金	200
繰入金		雑支出	1
雑収入	22	予備費	12,217
計	189,931	計	189,931

